

最初に、津波についてお話をしたいと思います。

私は、津波につきまして誤解をしていました。地震が起きますと、震度に併せて津波の高さの予報が流れることがあります。例えば、一メートルの津波というようなものであります。

そのような予報を聞きますと、皆さんはどのように思われるでしょうか。私は、自分の身長よりはるかに低い波なら大したことはないと思っていました。

ところが、津波の怖さは、その波が途切れずに押し寄せるということにあります。そして、人はもちろん、車や建物なども、その大きな力であつという間に押し流されてしまいます。

ですから、海の近くで地震に遭ったときには、予想される津波の高さがさほど大きくなくても、すぐに高台に避難しなければならぬのであります。

次に、墓参りについてお話をしたいと思いません。

先日、墓参りをしたときに、造花を飾った墓が増えていくことに気がつきました。正直なところ、初めて見たときには少し違和感もありました。

しかしながら、造花は、その美しさが長い間

続くという大きな利点があるのであります。

墓が近くにありますが、頻繁に生花を供えに行くことができません。しかし、遠くにあるとそうもいきません。実際に、盆や正月以外では、花が枯れてしまった墓が多くなっているのです。

そんな寂しい風景の中で、造花ではありましても、きれいな花が飾られているのを見ると、やはり心が和むものであります。作法的にも大きな問題はなさそうでありますから、私も一度試してみようかなというふうに思っているのであります。(丁)

## 6 級

それでは、最初に点字ブロックについてお話をしたいと思います。

皆さんが歩道や駅のホームでよく見かける黄色い点字ブロックは、岡山県に住む人によって発明されたものです。目の悪い友人が安全に歩道を歩けるようにとの思いから考案されました。

点字ブロックには、警告用と誘導用の二種類があります。岡山県で設置された後に東京都がその安全性に着目して採用するようになりました。それから全国に広がり、今では世界中で使われるようになっていきます。

次は、天気予報についてです。

皆さんも御存じのとおり、最近の天気予報は精度が大変よくなっています。これは、今から三十年前に法律が改正されたことによるものです。

これによって、民間の気象会社が自由に予報を発表するようになったのです。その結果、より細かい場所や時間の予報を知ることができるようになりました。

とはいっても、予報は必ず当たるものではありません。私は、急に雨が降っても困らないように、いつも折り畳み式の傘を持ち歩いています。(丁)